

飯能市監査委員告示第1号

地方自治法第199条第4項の規定に基づく令和6年度定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり公表する。

令和7年3月18日

飯能市監査委員 森 健 二

同 加 涌 弘 貴

1 監査の対象校及び実施日

対 象 校	実 施 日
飯能第二小学校、原市場小学校、名栗小学校、原市場中学校	令和7年1月14日
加治小学校、加治東小学校、飯能西中学校、加治中学校	令和7年1月15日

2 監査事項

令和6年4月1日から令和6年11月30日までに執行された財務事務及び事務事業に関する事項

3 監査の方法

あらかじめ提出を求めた監査資料及び監査当日に提出された帳簿、証拠書類を精査するとともに、関係職員から事務の執行状況などについて説明を聴取し、事務が適正かつ効率的に行われているか否かについて監査した。

なお、本監査は飯能市監査委員監査基準に準拠して実施した。

4 監査の結果

監査した財務事務などについては、総括的には法令等に準拠し、おおむね適正に処理されていた。

事務処理上留意すべき事項のうち、軽易なものについては、口頭で改善等の指示を行ったが、監査の結果は次のとおりである。

(1) 小学校

ア 学校運営について

飯能第二小学校においては、各学年の児童数から複式学級による授業が行われているところだが、地域との連携がとられており、また小規模特認校制度を利用した児童も増加する傾向にある。今後も地域との連携を活かし、特色ある学校運営が行われることを期待する。

原市場小学校においては、子どもたちの自己肯定感が高まるような取組を行っている。また、原市場子ども応援団を中心とした農場体験や見守り活動も行われている。今後も、子どもたち一人ひとりに目が届く規模であることから、特長を活かした教育環境の整備に努められることを期待する。

名栗小学校においては、学校長を中心とした学校のPRに努めており、その効果が児童数の増加となって現れつつある。今後も一人ひとりの個性を大切に、地域とともに発展する学校運営がされることを期待する。

加治小学校においては、児童の特徴に合わせた教育を行っており、職員が一体となって子どもたちが興味を持って勉強に取り組めるよう努めている。今後も誰一人取り残されない教育が進められることを期待する。

加治東小学校においては、保護者との新しい関係性を築きながら、丁寧な学校運営に努めている。学区内の人口が増加しており、地域との連携が課題となると思われるが、学校が地域のハブとして機能し、地域と一体となった学校運営が進んでいくことを期待する。

各学校とも子どもたちの安全を守るため、校内の防犯対策に努めているほか、地域の協力による登下校時の見守り活動などを実施している。今後も世代交代を進めながら、子どもたちを見守る取組が継続されることを期待する。

イ 施設管理について

各学校において雨漏り、壁の亀裂など様々な課題が見受けられる。計画的に修繕が行われていることに思慮されるところではあるが、児童が安全で健康的に学ぶ環境を維持するため、緊急性や危険性を有する箇所を優先して修繕等を実施されたい。

トイレの洋式化が進んでいない状態が一部の学校で見受けられた。学校は児童が長い時間を過ごす生活の場でもあるので、健康への配慮からも快適な環境が整えられることを切望する。

ウ 安全対策について

薬品類及び包丁等の刃物の管理については、盗難や紛失を防ぐために保管台帳で定期的に確認し、鍵付き保管庫にて管理されていた。薬品類は、使用後の重量を計測、台帳で管理することで紛失・盗難に備えている。刃物類に

については、図工準備室・家庭科準備室において、それぞれ鍵付きのロッカーで保管し、台帳と照らし合わせることで紛失等に備える管理体制が確立されていた。また、包丁については専用の殺菌保管庫で衛生的に保管されていることも確認した。

概ね良好な管理状態であるが、薬品類及び包丁等の刃物の紛失、盗難は児童への危険に直結することから、引き続き万全な管理を徹底されたい。

(2) 中学校

ア 学校運営について

原市場中学校においては、少子化の影響もあり生徒数は横這い若しくは微減といった状況である。そのような中で生徒一人ひとりに寄り添う教育を実践している。今後は、今まで以上に地域の人材を学校活動に活用していくことにより、地域ぐるみの教育が推進されることを期待する。

飯能西中学校においては、教育先進地の情報を積極的に収集されているとともに、タブレットを活用するなどの方法で、着実に生徒の成長を支える仕組みを構築している。今後は、学校、家庭、地域がより密接に連携し、生徒一人ひとりにあった「自立・共生」を目指す教育が推進されることを期待する。

加治中学校においては、生徒の自主的な成長を促しており、そのような中で行われる体育祭、合唱祭は大きな成長する機会となっている。今後は、教育環境の変化も見据えた持続的な学校運営ができるよう職場、家庭、地域の協働が進むことを期待する。

各学校とも生徒の安全を守るための校内の防犯対策に努めている。今後も、非常時に生徒が自主的に行動できるための訓練や安全教育を継続的に実施されたい。

イ 施設管理について

各学校において雨漏り、壁の亀裂など老朽化による様々な課題が見受けられる。全ての修繕等に対応できない事情があることと思慮されるところではあるが、生徒が安全で健康的に学ぶ環境を維持するため、緊急性や危険性を有する箇所を優先して修繕等を実施されたい。

ウ 安全対策について

薬品類及び包丁等の刃物の管理については、盗難や紛失を防ぐために保管台帳で定期的に確認し、鍵付き保管庫又はケースにて管理されていた。薬品類は、使用後の重量を計測、台帳で管理することで紛失・盗難に備えている。刃物類については、技術準備室・家庭科準備室において、それぞれ鍵付きの

ロッカー又はケースで保管し、台帳と照らし合わせることで紛失等に備える管理体制が確立されていた。薬品類及び包丁等の刃物の紛失、盗難は生徒への危険に直結することから、万全な管理を徹底されたい。

原市場中学校においては、包丁を鍵付きのロッカーで保管されていたが、他校のような殺菌保管庫は配置されていない状態であり、飯能西中学校においては、殺菌保管庫が故障している状態であった。衛生面から設置修繕等を検討することを望む。

不登校をはじめ心の健康については、各学校がさわやか相談員やスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒が困ったときにＳＯＳのサインを出せる体制を整えている。今後も児童・生徒一人ひとりに寄り添い、教育センターや福祉部門と連携しながら、安心して過ごせる居場所の創出に努められたい。

また、保護者の学校運営に対する負担軽減が議論されている中、持続的に活動が行われるよう保護者のみでなく、地域の力を活用していくことが求められる。学校・家庭・地域が連携し、地域の特色を活かした学校運営がなされることを期待する。